

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11) 実用新案出願公開番号

実開平7-14739

(43) 公開日 平成7年(1995)3月10日

(51) Int.Cl.⁶

H 0 4 M 1/00

識別記号

B

L

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 2 書面 (全 2 頁)

(21) 出願番号 実願平5-50878

(22) 出願日 平成5年(1993)8月12日

(71) 出願人 593174940

津尾 明弘

岡山県倉敷市水江1375-5

(72) 考案者 津尾 明弘

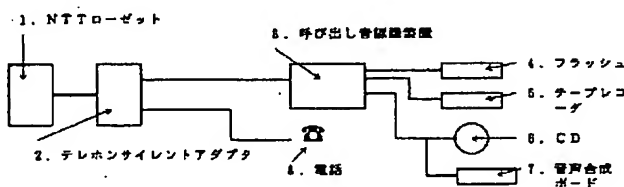
岡山県倉敷市水江1375-5

(54) 【考案の名称】 電話音声／メロディ／フラッシュ呼び出し装置

(57) 【要約】 (修正有)

【目的】 電話の呼び出し信号を認識し、音声／メロディ／フラッシュによる呼び出しを行う。

【構成】 交換機からの呼び出し音のカットが出来ない電話機の場合はテレホンサイレントアダプタ2（呼び出し音のカットが可能な電話は通常のテレホン分岐アダプタ）を接続し、呼び出し音認識装置3を接続する。そして、フラッシュ装置（市販の使い捨てカメラのフラッシュ部等）4、または、音声合成ボード7、テープレコーダ（マイクロテープを含む）5、CD装置6を接続し、呼び出し信号に同期をとりこれら装置の作動を行う。



【考案の詳細な説明】**【0001】****【産業上の利用分野】**

この考案は、電話の呼び出し信号を認識し、音声／メロディ／フラッシュによる呼び出しを行うものである。

【0002】**【従来技術】**

従来、電話の呼び出しにはベル、又は、電子音を使用した呼び出し方法しか行われていなく、情緒に訴えれない等の電話利用者の嗜好の多様化に追隨できていないだけでなく、音楽等をヘッドホン等をして鑑賞している場合等は、呼び出しに気がつかない等の不具合があった。

【0003】**【考案が解決使用とする課題点】**

本案は、それら欠点を除いて、電話利用者の幅広い嗜好に対応可能な呼び出し方法を開発しようとするものである。

【0004】**【課題を解決する為の手段】**

- (1) NTTのローゼットからの線に対して、呼び出し信号（AC75V、16HZ）を認識する装置（図1）を接続する。
- (2) その装置の出力でフラッシュ／音声合成ボード／カセット（マイクロカセットを含む）／CDを起動させる。

【0005】**【作用】**

本考案は、以上の様な構造であるから、電話の呼び出し信号に連動して、フラッシュが光ったり、音声、メロディが流れる。

【0006】**【実施例】**

本考案を用いる事により、次の如きが可能となる。

- (1) ヘッドホンステレオを聞きながら何か作業を行っている場合、又

BEST AVAILABLE COPY

は、赤ん坊を寝かしつけているばあい、電話の呼び出し音をカットしておき本考案のフラッシュのみ動作可能な状態にしておくと、フラッシュの光りにより、電話の着信を知る事が出来る。

(2) 呼び出し音を自分の好みの人の声が再生する様に変更しておく事により、気分よく、電話に出る事が出来る。

【0007】

【考案の効果】

現在、多様化している電話利用者の嗜好に対応出来ると考えられる。